



横浜市立富岡小学校

学校だより 8月号



有意義な夏休みを

校長 浅野 修一

学校が再開されて2ヶ月が過ぎました。毎朝、1年生と6年生が使っている昇降口で子ども達を迎えていると、登校班の6年生が1年生を優しく誘導してくれている場面をよく目にします。さらに素晴らしいのは、朝のあいさつの仕方を1年生に教えてくれていることです。このような状況ですので、大きく元気な声でというわけにはいきませんが、「相手の目を見て」「会釈しながら」「はっきりとした声で」というあいさつの基本を教えていました。初めは自信なさそうにあいさつしていた1年生も、今ではあいさつの基本を身につけ、相手に伝わるような「おはようございます」ができる子が多くなってきました。それを見ている6年生もうれしそうにしています。

本来であれば1年生と6年生は、ペア学年として給食や掃除のお手伝いや休み時間の交流など、関わる場面がたくさんあるはずでした。しかし1年生と6年生それぞれが、お互いに対する思いがあり、「今できること」に全力で取り組んだ結果、このような通常と比べても遜色ない成果があったと思います。我々教職員も、日々前向きに「今できること」を探しながら、子ども達の成長につなげていけるよう指導を続けてまいります。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

明日から8月16日まで、子ども達も楽しみにしている夏休みとなります。今年は2週間という短い休業期間となり、旅行や帰省などの遠出も予定通りとはいかない状況かと思えます。しかし、だからこそ「今できること」「今しかできないこと」を見つけてほしいのです。これまでの夏休みを振り返りながら、ぜひ有意義な時間を過ごしていただければと思います。同時に、この数か月間、子ども達はイレギュラーな状況の中、一生懸命がんばってきました。もちろん保護者の皆様も同様と推察いたします。この休み中にご家族の皆様で、心と体をしっかり休めていただければ幸いです。

7月も終わりますが、未だ梅雨が明けません。また今年は、まだ台風が一つも日本に接近していないそうです。この時期まで台風が来ないのも異例とのこと。大雨の影響で九州や東北を中心に、河川の氾濫や住宅への浸水が起こっているというニュースを耳にします。被災された方々に心からお見舞い申し上げます。改めて自然の力を実感するとともに、災害への備えを心がけなくてはと感じる今日この頃です。夏休み明けの17日月曜日、富岡小学校の子ども達全員が、災害や事件・事故にあうことなく、また感染症等に罹患することなく、元気に登校してくれることを心から願っています。